

森六、車成形部材を買収

178億円、レゾナックから

森六は24日、レゾナックから日本・タイの自動車成形部材事業を買収すると発表した。買収金額は178億円で、2026年4月1日の完了を予定している。森六の加飾・電装・軽量化技術とレゾナックの外装発泡・モジュール化技術などを融合し、競争力の高い製品を創出。35年に向けた長期ビジョンの実現と持続的な企業価値向上につなげる。

森六は、レゾナックの自動車成形部材事業を会社分割で承継させる新会社（東京都港区）の全株式を取得。

新会社と子会社で車用樹脂成形品・金型を手がけるレゾナック・オートモーティブプロダクツ（福岡県田川市）、タ

の関東事業所（茨城県筑西市）と九州事業所（福岡県田川市）、タ

イ現地法人の事業譲りを受ける。買収する拠点は7拠点となり、売上高規模は単純合算で約440億円。

長期ビジョンで「顧客ポートフォリオの拡充」を掲げており、今回の買収で九州に製造拠点を新たに加えるほか、いすゞ自動車などレゾナックが持つ顧客基盤への拡販に結びつきたい構えだ。今回の買収に伴う森六の26年3月期連結業績見通しは現在精査中としている。